

新庄市長 山尾 順紀

申請者 住 所

氏 名



連絡先

平成 2 7 年 度 補 助 金 等 交 付 申 請 書

平成 2 7 年度(新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金)に対して
_____ 円 を交付されるよう新庄市補助金等交付規則第3条の規定により、
次のとおり申請します。

記

- 1 補助事業の名称 新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金
 - 「一般型」リフォーム補助金：補助率10%（上限20万円）
（・県産木材 3 m³タイプ ・空き家活用タイプ）：上限10万円増
 - 「人口減少対策型」リフォーム補助金：補助率20%（上限30万円）
（・三世帯世帯 ・移住世帯 ・新婚世帯 ・子育て世帯）
（・県産木材 3 m³タイプ ・空き家活用タイプ）：上限10万円増
 - 耐震改修補助金（・市内業者と契約 ・市外業者と契約）

※該当する申請項目に印または○印を記すること

- 2 補助事業の目的及び完了予定年月日
 - 目 的 : 住宅の質の向上と住宅投資の波及効果による経済の活性化を図る
 - 完了予定年月日 : 平成 年 月 日

- 3 添付書類
 - (1) 事業計画書（リフォーム計画図）
 - (2) 収支予算書（業者見積書）
 - (3) 工事基準点算出表
 - (4) 着工前写真
 - (5) その他（県産木材を 3 m³以上使用する場合は木材数量表）

様式第1号

工事基準点算出表

| 区分 | 番号 | 工事内容 | 基準点 | 数量 | 工事点 |
|---------|-------------------------|---|---------------|----|-----|
| 部分補強 | 1-1 | 住宅の既存部分にある壁（幅90cm以上のものに限る）を筋かいや構造用合板等で補強する工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 1-2 | 住宅の屋根の重量を軽減する工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 1-3 | 住宅の2階以上の部分を除却する工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 1-4 | 住宅内に耐震シェルターを設置する工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 1-5 | 柱を補強する工事又は柱を増設工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 1-6 | 基礎の強度を上げる工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 1-7 | 柱、梁、筋交いの接合金物を増設する工事 | 5点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 1-8 | 防災ベッドを設置する工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| 省エネ化 | 2-1 | 高効率給湯器を設置する工事 | 10点/基 | 基 | 点 |
| | 2-2 | 再生可能エネルギー（太陽光や太陽熱、地熱等）利用機器を設置する工事 | 10点/基 | 基 | 点 |
| | 2-3 | バイオマス燃焼機器（ペレットや薪を使用するボイラーやストーブ）を設置する工事 | 10点/基 | 基 | 点 |
| | 2-4 | 外部に面する住宅の開口部の断熱性を高める建具（二重建具又はペアガラス入りの建具）を設置する工事 | 5点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 2-5 | 熱交換換気システムの設置 | 4点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 2-6 | 住宅内に電気設備工事を伴う省エネ照明機器（LED照明機器、人感センサーライト）を設置する工事 | 4点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 2-7 | 住宅の既存部分の外壁、天井、床等に断熱材を使用する工事又は漆喰塗壁や土塗壁などの伝統的工法で断熱性が高い工法による工事 | 1点/㎡ | ㎡ | 点 |
| | 2-8 | 住宅内に電気設備工事を伴う県産有機ELパネルを用いて製造した県産有機EL照明機器を設置する工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| バリアフリー化 | 3-1 | 住宅内の廊下又は出入口の幅を拡張する工事 | 10点/㎡ | ㎡ | 点 |
| | 3-2 | 住宅の階段の設置（既存の階段の撤去を伴うものに限る）又は改良により階段の勾配を緩和する工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 3-3 | 浴室を改良する工事であって、次のいずれかに該当するもの | | | |
| | (1) | 浴室の床面積を増加させる工事 | 10点/㎡ | ㎡ | 点 |
| | (2) | 浴槽をまたぎ高さの低いものに取り替える工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | (3) | 固定式の移乗台、踏み台その他の浴槽の出入りを容易にする設備を設置する工事 | 2点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | (4) | 身体の洗浄を容易にする水洗器具を設置し又は同器具に取り替える工事 | 3点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 3-4 | 便所を改良する工事であって、次のいずれかに該当するもの | | | |
| | (1) | 便所の床面積を増加させる工事 | 10点/㎡ | ㎡ | 点 |
| | (2) | 便器を座便式のものに取り替える工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | (3) | 座便式の便器の座高を高くする工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 3-5 | 便所、浴室、脱衣所その他の居室内及び玄関とこれらの居室を結ぶ経路に手すりを取り付ける工事 | | | |
| | (1) | 長さが150cm以上の手すりを取り付けるもの | 2点/m | m | 点 |
| | (2) | 長さが150cm未満の手すりを取り付けるもの | 4点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 3-6 | 便所、浴室、脱衣所その他の居室及び玄関とこれらの居室を結ぶ経路の床の段差を解消する工事（勝手口その他屋外に面する開口の出入口及び上がりかまち並びに浴室の出入口にあつては、段差を小さくする工事を含む） | | | |
| (1) | 浴室の出入口の段差解消又は段差を小さくするもの | 10点/㎡ | ㎡ | 点 | |
| (2) | 浴室以外の部分の段差を解消するもの | 5点/㎡ 又は 2点/箇所 | ㎡ 又は 箇所 | 点 | |

| 区分 | 番号 | 工事内容 | 基準点 | 数量 | 工事点 |
|---------|---|---|------------------------------------|--------------------------|-----|
| バリアフリー化 | 3-7 | 住宅の出入口の戸を改良する工事であって、次のいずれかに該当するもの | | | |
| | (1) | 開戸を引戸、折戸等に取り替える工事 | 5点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | (2) | 開戸のドアノブをレバーハンドル等に取り替える工事 | 1点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | (3) | 戸に戸車その他の戸の開閉を容易にする器具を設置する工事 | | | |
| | ア | 戸に開閉のための動力装置を設置するもの | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | イ | 戸を吊戸方式に変更するもの | 5点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | ウ | ア及びイ以外のもの | 2点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 3-8 | 便所、浴室、脱衣所その他の居室及び玄関並びにこれらを結ぶ経路の床の材料を滑りにくいものに取り替える工事 | 1点/m ² | m ² | 点 |
| 3-9 | エレベーターや階段用昇降装置の設置工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 | |
| 県産木材 | 4 | 住宅に県産木材の認証合板又は県産木材（「やまがた県産材集成材」を含む）を使用した工事 | 2.5点/0.1m ³ | m ³ | 点 |
| 克雪化 | 5-1 | 住宅の屋根の雪下ろし作業の安全性を確保する工事であって、次のいずれかに該当するもの | | | |
| | (1) | 雪下ろし作業用命綱（安全帯）を固定するための金具を取り付ける工事 | 2.5点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | (2) | 雪止めを設置し、又は取り替える工事 | 5m未満は 5点/箇所、 5m以上は 10点/箇所 | 5m未満 箇所 5m以上 箇所 | 点 |
| | (3) | 定式ハシゴを設置し、又は取り替える工事 | 1階分につき5点 | 階分 | 点 |
| | 5-2 | 住宅の屋根に融雪設備を設置する工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 5-3 | 住宅の屋根の雪を落ちやすくするため屋根を改良する工事であって、次のいずれかに該当するもの | | | |
| | (1) | 屋根の勾配を大きくする工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | (2) | 雪が滑りやすい屋根材に改良する工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | (3) | 屋根に雪割板を設置する工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| | 5-4 | 住宅と同一敷地内に融雪設備を設置する工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |
| 合計 | 点数の合計が10点（工事費50万円以下の場合は5点）以上あることを確認すること | | | | 点 |

| 「人口減少対策型」リフォーム補助金で「三世代世帯」要件の場合のみ記載のこと 太枠内の点数の合計が10点（工事費50万円以下の場合は5点）以上あることを確認すること | | | | | |
|--|-----|--|-------------------|----------------|---|
| 三世代 | 6-1 | 居室の床面積の合計がリフォーム工事着手前と比べ10m ² 以上増加する工事 | 1点/m ² | m ² | 点 |
| | 6-2 | 便所、浴室、脱衣所、洗面所又は台所を1か所以上増設する工事 | 10点/箇所 | 箇所 | 点 |

補助金額計算表

| 対象工事区分 | 見積額 | 計算式 | 申請補助金額* |
|---------|-----|----------|---------|
| リフォーム工事 | 円 | 左欄× %= 円 | 円 |
| 耐震改修工事 | 円 | 左欄× %= 円 | 円 |
| 合計 | 円 | | 円 |

※申請補助金額は千円未満を切り捨てとすること。

平成 年 月 日

新庄市長 山 尾 順 紀

申請者住 所
氏 名

印

工 事 完 了 届

下記のとおり住宅リフォーム等工事が完了しましたのでお届けします。

記

| | | | |
|-------------|-------------------------------|----------|--------------|
| 補 助 事 業 名 | 平成 2 7 年度新庄市住宅リフォーム総合支援事業 | | |
| 補 助 金 名 | 平成 2 7 年度新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金 | | |
| 工 事 場 所 | | | |
| 工 事 業 者 住 所 | | | |
| 工 事 業 者 名 | | | |
| 請 負 工 事 費 | 円 | 補 助 金 額 | 円 |
| 工 期 | 着 工 | 平成 年 月 日 | 完 成 平成 年 月 日 |

添付書類

1. 契約書の写 1 部
2. 完成及び工事中写真 1 部
3. 請求書
4. 県産材使用の証明書（県産木材を使用する補助対象工事の場合）
5. 人口減少対策型にて申請した場合は、住民票、戸籍謄本、住宅の売買契約書の写し
又は賃貸借契約書の写し等、人口減少対策型の世帯要件が確認できる書類
6. 空き家のリフォームを行った場合は当該建築物の売買契約書又は賃貸借契約書の写
7. その他（補助金振込口座の通帳の写）

| 住宅リフォーム等工事請負契約書 | | | | | | | | | |
|---|---|-----------------------|-----|---|---|-------|-----|---|-----------------------|
| 工 事 名 | 平成27年度新庄市住宅リフォーム等総合支援事業 住宅リフォーム等工事・耐震改修 | | | | | | | | |
| 工 事 場 所 | 新庄市 地内 | | | | | | | | |
| 工 期 | 平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで | | | | | | | | |
| 請負代金額 | ¥ - | | | | | | | | |
| | <table border="0"> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding: 0 10px;">内</td> <td>工事代金額</td> <td>¥ -</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">訳</td> <td>取引に係る消費税額 及び地方消費税額</td> <td>¥ -</td> </tr> </table> | | | { | 内 | 工事代金額 | ¥ - | 訳 | 取引に係る消費税額 及び地方消費税額 |
| { | 内 | 工事代金額 | ¥ - | | | | | | |
| | 訳 | 取引に係る消費税額 及び地方消費税額 | ¥ - | | | | | | |
| 契約保証金 | ¥ 0 | 前払金 | ¥ 0 | | | | | | |
| <p>上記の工事について、発注者(甲)と請負者(乙)とは、各々対等な立場における合意に基づいて、請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。</p> <p>本契約の締結を証するため、本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p>(甲)発注者 所在地 新庄市</p> <p style="text-align: right;">氏 名 ⑩</p> <p>(乙)請負者 住所又は所在地</p> <p style="text-align: right;">氏名又は名称 ⑩</p> <p style="text-align: right;">及び代表者氏名</p> | | | | | | | | | |

平成 年 月 日

新庄市長 山 尾 順 紀

住 所

氏 名

㊞

請 求 書

金 _____ 円

平成 年 月 日付け指令第 号で交付決定がありました平成27年度新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金を請求いたします。

振込み先

振込み先金融機関名

支店名

種類 普通

口座番号

(フリガナ)

口座名

様式第5号

平成 年 月 日

新庄市長 山尾 順紀

申請者 住所

氏名 ㊟

平成27年度(新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金)実績報告書

平成 年 月 日付指令第 号で交付決定のあつた事業について、新庄市補助金等交付規則第9条(又は地方自治法第221条第2項)の規定により、その実績(又は状況)を報告します。

記

- 1 補助事業の名称 新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金
- 2 補助事業の成果及び完了年月日 平成 年 月 日
- 3 添付書類
(1) 収支精算書(工事費領収書の写)

様式第3号

平成 年 月 日

新庄市長 山尾 順 紀

申請者 住所
氏名又は名称及び代表者氏名

印

平成27年度 補助事業変更(中止・廃止)申請書

年 月 日付指令第 号で交付決定のあつた事業について、次のとおり
変更(中止・廃止)したいので、新庄市補助金等交付規則第7条の規定により申請します。

記

- 1 補助事業の名称 平成27年度 新庄市住宅リフォーム総合支援事業費補助金
- 2 変更(中止・廃止)予定年月日
- 3 変更(中止・廃止)の理由
- 4 変更の内容

(備考) 変更のときは()書を抹消する。